

さくらだより

鳥取大学医学部附属病院 がんセンター
がん相談支援室/さくらサロン

さくらサロンへようこそ！

さくらサロンでは、毎月1回、オンラインを中心とした患者さん同士の交流会を開催しております。同じ体験者同士が集まり、自分の体験や日常のちょっとした興味関心ごとを話す、困っていることへの工夫を尋ねるなど、ざっくばらんにお話しています。病氣と付き合っていく中では『以前の自分』と『現在の自分』に折り合いがつかない状態で辛い気持ちになることもあります。皆さんの色々な体験を聞く中で『今、ありたい自分』を見つけるきっかけになることもあります。ご興味のある方はぜひがん相談支援室にお尋ねください。

今日は調子が悪いなあと思っていたけれど、大好きなことの話が出てちょっと元気ができました。



患者の家族です。治療を待っている間ちょっと参加させていただきました。同じようなことに悩んでこられた方もおられるんですね。たとえば抗がん剤治療中の食事ってどんな工夫をされていましたか？



最近は月がとてもきれいです。お勧めは朝の月。なかなかきれいなんですよ。ぜひ皆さん見てみてください。

特に変わりはないです。皆さんの顔を見て話を聴いているのが楽しいです。



交流会の一コマより

オンラインさくらサロンの開催予定(要申込み)

11月8日(火) 12月13日(火) 1月10日(火)
13:00~15:00

8月・9月・10月の
オンラインさくらサロン交流会
8月の参加者7人、9月の参観者10人
10月の参加者9人

さくらサロン展示「秋みつけ」

芸術の秋、読書の秋、運動の秋、食欲の秋…
さくらサロンでは皆様の「秋」を募集し展示しております。秋の草花、収穫物などなど写真が壁面を飾っています。患者さんやご家族がリハビリや治療、闘病生活を支える合間に捉えた「秋」をどうぞご覧ください。



さくらサロン 文庫

『「Dr.カキゾエ黄門」漫遊記 がん向き合って50年』

垣添忠生著 朝日新聞出版(2019年)

著者の垣添忠生先生は国立がん研究センターでがん診療を行ってきたと同時に奥様をがんで亡くされ、ご自身も大腸がん、腎臓がんと闘病されたがん専門医であり、がんサバイバーでもあります。がんサバイバー支援を訴え、九州から北海道までの主要ながんセンターをできる限り歩いて訪ねた記録が記されています。全国のがん神座産の支援の取り組み、それぞれの土地で出会った患者さんとお会ったエピソードが書いてあり、全国のがん患者さんとの出会いが楽しめる一冊です。「サバイバー支援にゴールはない」で締めくくられ、先生は各地で講演されるなど患者さんとの活動を今でも支援しております。(N)



オンラインさくらサロンへのご参加を希望の方はがん相談支援室までお気軽にどうぞ。
また、引き続きメッセージや本のご紹介も募集しております。

がん相談支援室/さくらサロン
電話:0859-38-6294 吉岡・成相・奥野/中條E-mail: gan-center@med.tottori-u.ac.jp